

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (ままごと0歳児)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすい。都心に位置する本園では、栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互に関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

1/20 0歳児 園内研究

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・0歳児が安心して遊べるよう、柔らかい素材（フェルト生地）で果物に見立てた玩具
- ・果物や野菜などの食べ物に関する絵本
- ・玩具を置く棚（子どもの目線に入りやすく取りやすい場所）を設置

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・保育者が果物や野菜などの玩具を手に取り、食べるまねをするなどして子どもの興味を引き出した。
- ・子どもが玩具を手に取り、ままごと遊びの中で食べ物に見立てて遊んだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・果物の玩具を手に取り、保育者に見せながら「バイバイ」と言ってお出かけの見立て遊びを楽しんでいた。
- ・玩具を口に入れてみるなどして、素材の感触を確かめていた。
- ・保育者が食べるまねをすると、それを真似して食べようとする様子も見られた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

果物に見立てた玩具を用意することで、子どもたちは手に取ったり口に近づけたりしながら関心を示していた。保育者のまねをして食べる動作をする姿も見られ、遊びの中で食べ物に親しんでいく様子を感じられた。子どもの成長に伴い、遊び方が変化しながら、見立て遊びへと広がっていく可能性も感じられた。